

平成 29 年度  
事業報告書

社会福祉法人 山王平成会

## 目次

法人本部	.....	1
ごしよの保育園	.....	5
かわしり保育園	.....	14
阿久和保育園	.....	19
西柴保育園	.....	26
阿久和キッズ	.....	38

平成 29 年度  
社会福祉法人 山王平成会  
法人本部事業報告

1. 評議員

評議員は次のとおり（敬称略）

安部 珠央、石川 素子、柴田 幸春、牧島 綾子、松田 拓郎、松橋 洋子  
丸山 美路、米村 徹

2. 理事・監事

理事・監事は次のとおり（敬称略）

- ・理事長 長谷川 貴勇
- ・副理事長 加賀屋 寛子
- ・理事 中川 實、地主 徹弥、有田 正司、富樫 富士子、松田 悦郎
- ・監事 田口 昭一、高橋 真一

3. 評議員会の開催

- ・第 1 回 平成 29 年 6 月 11 日(日)
  - 第 1 号議案 平成 28 年度決算の件
  - 第 2 号議案 理事・監事の選任
  - 第 3 号議案 役員及び評議員の報酬等支給基準について
  - 第 4 号議案 横浜市公立保育園移管申請伺いの件
  - 第 5 号議案 西柴保育園 認可定員の変更届出書提出の件

4. 理事会の開催

- ・臨時 平成 29 年 4 月 6 日(木)
  - 第 1 号議案 監事交代の件
  
- ・第 1 回 平成 29 年 5 月 24 日(水)
  - 第 1 号議案 平成 28 年度財務諸表等の件
  - その他の議案 西柴保育園仮園舎予算計画について

- ・第2回 平成29年6月15日(水)
  - 第1号議案 理事長互選および職務執行理事の選任
  - 第2号議案 平成28年度事業報告書の件
  - 第3号議案 就業規則改定の件
  - 第4号議案 横浜市公立保育園移管申請伺いの件
  - 第5号議案 西柴保育園 認可定員の変更届出書提出の件
  
- ・第3回 平成29年9月1日(金)
  - 第1号議案 各種規定改定の件(処遇改善加算新制度に伴い)
  - 報告事項
    - (1)西柴保育園建替計画の中間報告
    - (2)横浜市公立保育園移管申請伺いの中間報告
    - (3)かわしり保育園中庭工事の報告
  
- ・第4回 平成30年2月8日(木)
  - 第1号議案 平成29年度補正予算の件
  - 第2号議案 保育所施設設備・積立金の取り崩しの件
  - 第3号議案 平成30年度事業計画および中長期計画の件
  - 第4号議案 施設長交代の件
  - 報告事項
    - (1)横浜市公立保育園移管について
    - (2)保育園の認定こども園化の検討について
  
- ・第5回 平成30年3月5日(月)
  - 第1号議案 保育所施設設備・積立金の取り崩し(案)
  - 第2号議案 平成30年度予算(案)
  - 第3号議案 各種規程改定(案)

## 5. 重点施策

### (1) 社会福祉法人改革の円滑な移行

執行機関としての理事会、議決機関としての評議員会が、年間通して円滑に運用できた。

新たに発足した評議員の皆様には、当法人に対しての理解をより深めて頂きたいと考えております。例えば来年度から、秋田地区だけでなく横浜地区での評議員会の開催や、意見交換会の場(評議員の皆様と当法人職員)を設定し、お互いの考えを深め合うきっかけ作りなどを推進していきたい。

今後も引き続き、理事会、評議員の皆様とはコミュニケーションを深め、更なる信頼関係の構築に努めていく。また各種会議では、ゼロベースの発想を忌憚なく発言できる雰囲気作りも大事にしていく。

## ( 2 ) 攻めの財務管理 ( 処遇改善含む )

四半期ごとに各勘定科目について予実算比較及び、前年比較を経理メンバーが中心となりデータ分析、情報共有を行った。その中で大きく乖離している勘定科目については徹底的に原因究明を行った。その結果、年度末には予定通りの実績を挙げることができた。

職員の処遇改善については、多方面にわたり計画的かつ積極的に実施した。具体的には、今までの一時金に加え、月々に支給する改めて見直した役職手当 ( キャリアアップシートに記載された役職 ) の支給を行った。並行して、規定類の改定も実施した。

## ( 3 ) 姉妹園における連携強化の支援

姉妹園交流の活性化 ( 子どもたち、職員の交流 ) を目的に、横浜市の民間移管園 ( 上永谷西保育園 ) の獲得に乗り出し採択された。平成 31 年度からの円滑な立ち上げに向け計画的に準備を進めていきたい。

今までの姉妹園交流は、運動会、発表会、卒園式等への参加が主流だった。今年度から本格的に、各園が中心となり新規採用職員への新人研修、2年目の保育士を対象とした実地研修を通じた職員交流、講師を招いた合同研修、栄養士・調理師の意見交換会等、日常業務に早期に役立つ OJT が幅広く展開された。

引き続き法人としては、園長会の充実化を図り、事業計画書の確実な遂行に向け支援していく。

## ( 4 ) 園舎の老朽化対策に向けた効果的な積立金の活用

ご利用者 ( 保護者 )、地域住民に向けた西柴保育園の園舎建替えの住民説明会は、1年間を通じて円滑に推移し無事に終了することができた。

今年度は、西柴保育園の仮園舎の建設が予定通り3月末で完工し、支払いも積立金も有効活用し完済した。また並行して、新園舎のレイアウトも、西柴保育園の職員と設計事務所と十分に協議を行い仕様が決定した。

最終的には入札業者も決まり、新園舎建設に向けた準備は整った。

秋田地区は、姉妹園の積立金を活用し、かわしり保育園の外壁塗装、園舎の中庭整備、園バスの購入等、大規模修繕項目を予定通り実施した。

## ( 5 ) 前向きな職員採用

職員採用のコスト削減策として、紹介会社と直接交渉による個別採用の比率を減らし、就職フェア ( 有料ブース ) の回数を増やした。また、新卒採用に向けた学校訪問もタイムリーな時期に実施するように心掛けた。

保育士採用が困難と言われている中、採用方法・時期の見直しを重ねてきた結果、採用人数の合計としてキャリア、新卒含め約 20 名程度の職員を早期に採用できた。また、職員からの紹介で新規採用ができた点も、とても大きな効果を挙げた。

平成 31 年度から開園予定の上永谷西保育園の職員の事前採用も、平成 29 年度内にほぼ計画通り遂行した。

今後も中長期的な人材育成の視点も見据え、新卒の採用も継続的に実施していく。他法人と差別化を図るため、学校に提出する求人案内はより工夫が必要であると感じた。(今後学校に提出する求人案内の情報は必要最低限にし、新規にQRコードを導入してみたいと考えている。)

職員採用に関して、今までは法人中心に展開してきたが、最近では職員も率先して採用活動に参画し、自分たちのこととして捉え始めている。この心理的变化は、とても重要なことであり大事にしていきたい。

## 6. 職員内訳

(平成 30 年 3 月 31 日時点)

	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理師	事務員	看護師	合計
法人本部	0 名	0 名	0 名	0 名	0 名	1 名	0 名	1 名
ごしよの保育園	1 名	42 名	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名	53 名
かわしり保育園	1 名	16 名	2 名	4 名	1 名	1 名	1 名	26 名
阿久和保育園	1 名	21 名	3 名	2 名	1 名	2 名	0 名	30 名
西柴保育園	1 名	14 名	4 名	2 名	0 名	1 名	0 名	22 名
阿久和キッズ	1 名	8 名	0 名	1 名	1 名	0 名	0 名	11 名
合計	5 名	101 名	11 名	11 名	5 名	7 名	3 名	143 名

## 7. 児童数の状況

	定員数	児童数(月平均)
ごしよの保育園	180 名	186 名 / 月
かわしり保育園	60 名	64 名 / 月
阿久和保育園	90 名	94 名 / 月
西柴保育園	60 名	58 名 / 月
阿久和キッズ	19 名	19 名 / 月
法人合計	409 名	-

以上

# 平成 29 年度 ごしよの保育園事業報告

## 1. 事業内容

- ・ 保育事業
- ・ 一時預かり事業
- ・ 延長保育事業
- ・ 病児保育（体調不良児対応型）事業
- ・ 障害児保育事業

## 2. 保育園をめぐる状況

- ・ 平成 29 年度の最終在籍数は 194 名であった。しかし、入園する子どもの年間延べ人数が例年より少なかったために、委託運営費に影響が生じた。そのような中で、第三者評価受診や園の修繕等の施設整備などを、計画的に行なった。
- ・ 平成 29 年度は、「第三者評価受診・リズムあそび・英語あそび」の 3 点を重点に掲げ、チームを構成し進めた。それぞれの分野において、良い評価が得られた。リズムあそびと英語あそびは、今後も園を上げて取り組んでいきたい。
- ・ 人事関係では、保育士 1 名と栄養士 1 名が年度途中（1 月末と 2 月末）で都合により退職した。年度末には保育士 3 名（正規 1 名、非常勤 2 名）が退職した。採用職員に関しては、29 年度の応募がなかった。計画的に職員採用していくことが課題と感じる。

## 3. 重点施策

### 1. 第三者評価受審

平成 29 年度は、第三者評価の受審を受けた。10 月に 2 回の訪問調査を経て、12 月に結果公表に至った。評価結果や保護者アンケートから、当園の良い点と改善点を知ることができた。30 年度は、良い部分は伸ばし、改善点を意識しながら職員の資質向上のための取り組みを行っていきたい。

### 2. リズムあそびを深める

平成 29 年度は、横浜市で行われているリズム研修に参加した。そこで学んだことを、勉強会を設けて職員に周知した。職員がリズムあそびについての知識を深め、子どもたちの成長にどのように影響するのかを全職員が把握することで、意識しながらリズムあそびを取り組むことができたと感じる。30 年度は、研修で頂いた資料を基に、ごしよの保育園独自のリズムあそびの資料を作成し、更に共通理解を図って取り組んでいきたい。

#### 4. 施設整備及び備品等購入

- ・平成 29 年度事業計画で挙げた内容について報告する。

実施時期	件名（内容）	金額（単位：円）
4月	・園バス購入 かわしり保育園と共同で購入する。	2,240,000
6月	・非常警報放送設備 落雷により故障したため、取り換え工事を行う。	400,000
10月	第三者評価受診。	288,000
1月～3月	・除雪費 雪の除雪と運搬。	120,000

#### 5. 部門別保育年度達成状況（経過記録）

- ・平成 29 年度事業計画で挙げた内容について報告する。

##### （1）乳児保育部門

###### **0歳児いちごくみ**

当初の姿から、特に食事の際に自分で食べようとする気持ちを持ってほしいというねらいを掲げ、保育を進めてきた。遊びの中で様々な感触に触れる機会を設けたり、楽しい雰囲気の中で食事ができるようにしたりすることで、どんな食材でも手づかみやスプーンを使い、自分で食べようとする姿が見られるようになった。

###### **1歳児ばななくみ**

食物アレルギーを持つ子どもへの対策では、厨房と連携をとりながら、職員間で声を掛け合い、安全に食事することができた。

生活や遊びでは、意欲的な姿を認めながらも、安全に活動ができるような環境設定を心がけた。話す言葉も増え他児との関わりも増えてくるので、言葉かけや仲立ちを工夫し、他児と遊ぶ楽しさを感じられるようにした。

###### **2歳児ももくみ**

食物アレルギーのある子どもが多かったので、安全・安心な環境を年間通して心がけた。

生活習慣の自立を目指し、多くの失敗や成功体験を積みながら、自分でできることを増やしていけるようにした。また、子ども同士の関わりも増える時期なので、保育士が仲立ちとなって友だちと関わる楽しさを感じられるようにした。

##### （2）幼児保育部門

###### **3歳児めろん・みかんくみ**

一つひとつの活動の取り組み方や、なぜ行うのか理由を丁寧に伝え、子どもたちが納得した上で取り組めるようにしてきた。

友だちとの関わりも増えると同時に、トラブルになることも多かったので、保育者が互いの気持ちを聞き代弁するなどの仲立ちを心がけた。年度の後半には、自分の気持ちを相手に伝えながら関わる姿も見られるようになった。

#### 4 歳児ゆりくみ

身の回りのことに意欲的に取り組み、生活面では自立している姿が見られた。

個別配慮を必要とする児に対しては、保育者1名が傍につき、園内外で安全に且つ周りの友だちと同じ活動に参加することができるようにしてきた。年間を通じて一人ひとりの素敵なところ、個性を認める言葉かけをし、互いの良さに気づき、認め合えるような関わりを心がけた。

#### 5 歳児ばらくみ

様々な活動や生活をする中で、自主的に行動する姿が見られた。そこで、自分で考え行動する主体的な姿へとつなげていきたいと思い、今やるべきことを自ら判断し率先して行動することができるような言葉かけや環境構成を意識して過ごすようにした。様々な活動において自主的な行動を繰り返していくうちに、遊びを考えたり、ルールを話し合っ決めてたりと、主体的な姿が見られるようになった。

### (3) 給食部門

地産地消を心掛け、郷土食を盛り込みながら、旬の野菜を使った給食を提供することができた。また、アレルギーのある子どもの食事に関しては、保護者・担任と連携を取り安全な給食の提供のため、改善を怠ることなく、取り組むことができた。さらに衛生管理の面では、子どもと職員が講習を受けた。日々の手洗い消毒の見直しを行い、食中毒の正しい知識を得て、感染防止に努めた。

食育活動では、絵本や紙芝居を通して、食事や食材に関心を持つことができるような取り組みを行った。

### (4) 子育て支援部門

#### ○地域の保護者に対する子育て支援

地域の交流センターにおいて、未就園児を対象に行っている子育て支援では、保育園で取り組んでいるリズムを取り入れたり、保育園ならではの遊び等を紹介したりと、保育の専門性を活かした子育て支援ができるように努めた。また、給食試食会を設けて、食育や子育ての悩み等の相談ができるようにした。

#### ○保育園を利用している保護者に対する子育て支援

いつでも面談できる体制を整えながらも、12月～2月には全在園児対象の個人面談を行い、進級に対しての不安解消や気持ちに寄り添った支援を行った。

(5) 地域と交流部門

○近隣中学校・高校との交流

29年度は、保育園から学園祭に出かけたり、地域の合同避難訓練に参加したりと積極的に交流ができた。また、中学校・高校からも、職場体験やボランティアなど要望があり受け入れた。

○地域の福祉施設との交流

例年同様、季節の行事ごとに子どもたちを招待していただいた。また、近隣に開設した障害児施設若竹学園とも行事で交流を持つことができた。

(6) 姉妹園交流部門

かわしり保育園の厨房会議と、年度の後半には職員会議にも参加させていただき、意見交換を始め交流を行った。今後もお互いの会議や保育等に参加するなど、交流を図っていきたい。

○横浜の保育園とは、行事を通しての職員交流を行った。また、西柴保育園の建て替え工事の様子などの話を伺った。

6. 児童数・職員数 (空欄に数字を記入)

(1) 入所児童数の推移

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	13	33	31	32	34	31	174
5月	18	33	31	32	34	31	179
6月	20	33	31	32	34	31	181
7月	20	33	31	32	34	31	181
8月	22	33	32	33	34	31	185
9月	24	33	32	33	34	31	187
10月	26	33	32	33	34	31	189
11月	31	33	32	32	34	31	193
12月	31	33	30	31	34	31	190
1月	32	33	31	31	34	31	192
2月	33	32	31	31	34	31	192
3月	34	33	31	31	34	31	194
年平均園児数	25	33	31	32	34	31	186

(2) 職員数(平成30年3月31日時点)

(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	17	0	1	0	1	1	21
嘱託職員	0	6	0	1	0	0	1	8
パート職員	0	19	2	0	2	1	0	24

## 7. 実施行事

### (1) 実施行事一覧

月	日	名称	内容
4	1	進級・新入日	
	12	おおきくなったね おめでとうの会	進級・新入をみんなでお祝いする。
	15	保育園懇談会・ごしよの会総会	保育園や保護者会の昨年度の活動内容や今年度の方針について話し合う。
	27	じゃがいも植え	御山野楽校にて、じゃがいもを植える。(かわしり保育園と合同)
	28	端午の節句集会	端午の節句をみんなでお祝いします。
5	16 23 30	内科検診	3回に分けて園医に来ていただき検診を受ける。
	26	第三者苦情委員さんとのお話会	第三者苦情委員さんをお招きして、園の活動や現状を交えながら意見交換を行う。
6	3	保育参観・参加	お子さんと一緒に園での過ごし方を知り、遊びを楽しむ。
	23	歯科検診	園医に来ていただき、検診を受ける。
	30	交通安全教室	秋田市交通安全課より2名来園され、交通安全についてお話をきく。
7	6	七夕集会	子どもたちの願いを短冊に飾り、行事の由来について知る。
	7 8	お泊り保育	年長児が岩城少年自然の家で一泊する中で、様々な経験をする。
	13	不審者侵入時対応訓練	警察署から3名とスクールサポーターの方が来園され、不審者対応訓練を実施する。
	29	夏まつり	園児とその家族と地域の方で夏まつりを楽しむ。
8	1	かわしり保育園竿燈壮行会	竿燈に参加するかわしり保育園を応援しに行く。
	7	じゃがいも掘り	御山野楽校に植えたじゃがいもの収穫をする。
9	2	運動会	御所野小学校のグラウンドで運動会を行った。
	25 ~ 29	自由保育参観・参加週間	保護者の方に自由に参観・参加してもらい、“一日保育士”になってもらい、保育に参加する。
10		遠足	学年ごとに園バスに乗って出かける。(3歳以上児は弁当持参)
	4	合同避難訓練	地域の中学生、高校生、地域の方と一緒に、防災訓練を行う。
	17 24 31	内科検診	園医に来ていただき、検診を受ける。
	26	子育て支援 給食試食会	未就園児と保護者が保育園に来て給食を試食する。

11	14	交通安全教室	秋田市交通安全課より2名来園され、交通安全についてお話をきく。
12	2	発表会	秋田テルサにて、保育園で身に付けたことを演目に組み込み発表する。
	22	クリスマス会	みんなでクリスマスを楽しむ。
		個人面談 12月～2月	在園児全ての保護者を対象に、子どもの様子や新年度に向けての説明を行う。
1	10	新年を祝う会	新しい年をみんなでお祝いする。
	20	給食試食懇談会・ごしょの会総会	保育園や保護者会の今年度の活動内容を報告をしたり、給食を試食したりしてもらう。
2	2	節分集会	節分を行い、行事の由来を知る。
	17	年長保育参観・クラス懇談会	卒園の思い出になるように、親子で製作をしたり、歌や詩を聞いてもらったりする。懇談会では、卒園前の子どもの様子をお伝えする。
3	2	ひなまつり会	ひなまつりの由来を知り、みんなでお祝いする。
	4	卒園式	シルバーエリアの多目的ホールにて、卒園をお祝いする。
	5	民生・主任児童委員さんとお話の会	民生・主任児童委員さんをお招きして、今年度の保育園の様子や頂いたご意見・苦情とその対応をお伝えして、助言を頂く。
	15	交通安全教室	秋田市交通安全課より2名来園され、交通安全についてお話をきく。一年頑張った賞状を頂いた。
	16	ばらくみさんとさようならの会	卒園児との思い出を振り返りながら、プレゼントや歌のやりとりを行う。

\* この他、毎月1回、避難訓練、誕生会を行っている。また、2歳児以上のクラスは、月に1回バスでのお出かけを行った。(冬季は除く)

(2) 来年度(平成30年度)に向けた検討事項

- ・リズムあそびや英語遊びを通して、地域との交流を図っていく。
- ・行事内容の検討・充実

## 8. 研修報告

(1) 研修報告一覧

月	日	通常の研修名 (右記以外の研修名)	処遇改善 対象の研修名	内容
4	13	園長等管理運営者協議会研修		平成29年度幼保推進課指導の重点について 他
	19	新規採用者研修		秋田県が大切にしている乳幼児の教育・保育について 他
	20 21	横浜市リズム研修		横浜市のリズムの研修を受け、知識を深める。

5	11	南部地域子育て支援ネットワーク連絡会		秋田市板ネウボラについて 他
	15		教頭・主任等研修会	幼保推進課指導の重点について他
	18	新規採用研修		乳幼児理解について 他
	18 19	横浜市リズム研修		横浜市のリズムの研修を受け、知識を深める。
	25	食物アレルギー等研修会		食物アレルギー及びアナフィラキシー発症時の対応 他
	26		園内研修リーダー養成講座	園内研修リーダーの役割 他
		改訂保育指針研修会		保育所保育指針の改定の概要 他
6	7	新規採用研修		子どもの姿と保育者の関わりについて 他
	9		保育実践力向上研修	保育の記録の意義と実際 他
	13		5年経験者研修	保育におけるねらいと実践 他
	15 16	横浜市リズム研修		横浜市のリズムの研修を受け、知識を深める。
	22	食中毒予防体感セミナー		衛星のプロによる手洗い指導 他
	23	第27次保育士研修会		保育制度について 他
			ディリ プランニング研修会	デイリープランニングの実態 他
30		中堅教諭等資質向上研修	本県就学前教育・保育の目指すところ 他	
7	5	南部地域子育てネットワーク研修会		リフレッシュ運動と親子遊び 他
	6		第27次保育士研修会	子どもを考える・理解するカウンセリング 他
	14	南部地区幼保小連絡協議会		社会性を育む個別支援の在り方他
	19	新規採用者研修		プロジェクトアドベンチャー体他
	20 21	横浜市リズム研修		横浜市のリズムの研修を受け、知識を深める。
	25		県保育士会ブロック別研修会	保育所保育指針について 他
			中堅保育士資質向上研修	プロジェクトアドベンチャー理論・応用について
	27	秋田市幼児発達支援事業研修会		児童発達支援施設における療育の実態 他
			保健部会「感染症対策」	感染症対策について 他
28		就学前教育理解推進研究協議会	幼稚園教育要領の基本的な考え他	
8	3	特定給食施設研修会		特定給食施設における衛生管理他
			幼保小連携研修会	幼児教育の現状と小学校との接続について 他

			生活科研修会	新学習指導要領を踏まえた授業の在り方。
	8		就学前小学校中央地区 合同研修会	乳幼児期に育みたい資質・能力と 幼小連携・接続の在り方 他
	21		特別支援教育研修会	障害のある子どもの支援の在り他
	22		5年経験者研修	子どもの主体的な活動を支える環 境構成 他
	24		中堅教諭等資質向上研修	子どもを『みる』とは 他
9	1	南部地域子育て支援 ネットワーク連絡会		児童虐待の現状とその対応につ いて 他
			乳幼児(0~2歳児)保育研修会	乳幼児の発達の理解 他
	8		衛生セミナー・調理講習会	手洗い講習 他
	12		中堅教諭等資質向上研修	特別な配慮を要する乳幼児の支援 他
	21 22	横浜市リズム研修		横浜市のリズムの研修を受け、知 識を深める。
	28	新規採用者研修会		山王幼稚園にて保育参観 他
	29	第27次保育士研修会		健康の森にて森歩き体験 他
10	4		保育実践力向上研修会	保育の記録と意義 他
	6		秋田県保育士会研修会	3歳未満児の保育について 他
		秋田市感染症予防研修会		麻疹・風疹について 他
	16		中堅教諭等資質向上研修	園における評価について 他
26	秋田県女性活躍推進セミナー		女性が活躍できる環境について他	
11	7	南部地区幼保小連絡協議会		幼児期の終わりまでに育てほし い姿について 他
	9		教頭主任等研修会	指導計画の作成・改善における主 任の役割 他
	12	公開研究協議会		公開保育 かかわりについて 他
	15	ブロックセミナー 保育所保健衛生研修会		書育管理下の傷害予防について他
	16 17	横浜リズム研修		横浜市のリズムの研修を受け、知 識を深める。
	20		中堅教諭等資質向上研修	小学校の授業参観 接続と連携に ついて 他
	21	実習懇談会		施設実習の目的と内容 他
			秋田県保育士会研修会	障害児の理解と発達の援助につ いて 他
	22		保健部会「幼児安全法」	乳幼児の事故と対処法について
		園内研修リーダー養成講座	園内研修の課題対応について 他	

	23		5年経験者研修	乳幼児期に大事にしたいこと 他
	24	新規採用者研修会		カウセリングマインドを生かした乳幼児・保護者との関わり 他
	29		保育所保育指針説明会	保育所保育指針の改定について他
	30	秋田市保育協議会研修会		子育て支援について
12	5	労務管理研修会		人事考課、賃金設計について 他
	21 22	横浜リズム研修		横浜市のリズムの研修を受け、知識を深める。
1	5	新規採用者研修		乳児理解に基づく環境構成と援助について 他
			中堅教諭等資質向上研修	ファシリテーターとしての役割他
	7		汐見先生保育所保育指針講演会	汐見先生をお呼びして、保育所保育指針改訂のポイント等の講演を受ける。
	18	食育研究会・地産地消交流会		食育活動について 他
	19 20	横浜リズム研修会		横浜市のリズムの研修を受け、知識を深める。
26	母子保健支援者総合研修会		母子感染予防について 他	
2	8	南部地域子育て支援ネットワーク連絡会		年度の反省と来年度について
	9	保育所（園）長研修会		子どもを預かる施設における深刻事故について 他
	25 26	保育所・認定こども園リーダートップセミナー		保育分野の取り組みと現状について 他

(2) 来年度（平成30年度）に向けた検討事項

- ・ 保育所保育指針の勉強会（汐見先生を呼んでの講演会の実施）
- ・ 職員の意向に沿った外部研修への参加
- ・ キャリアアップ研修への積極的な参加
- ・ 園内研修の充実

以上

# 平成 29 年度 かわしり保育園事業報告

## 1. 事業内容

- ・一時預かり事業
- ・延長保育事業

## 2. 保育園をめぐる状況

近隣の保育施設の増加、幼稚園の認定こども園化により、入所児童数の変動が予想されたが、例年より少ない入所児童数ではあったものの、平均入所児童数としては 63 名を超えた。

秋田市が保育園数、認定こども園数を増加させたことで保育士数の激減が各園で取り上げられた。また給与の面から他園への勤務を希望する職員もおり、途中退職する保育士も多かった。少ない職員数ではあったものの、全職員で声を掛け合い、子ども達にも保護者にも満足してもらえる保育を心がけた。

園内外の整備としては、ごしよの保育園と共同で園バスの購入したこと、中庭の整備、外壁の工事、0 歳児保育室の床の張り替えなど園内外の整備を行うことができた。

地域交流に関しては、地域の方々や小学校との交流、幼稚園との交流も以前に比べて多くなっている。

## 3. 重点施策

### 1. 保育目標、保育内容を共通理解し、保育を行う。

今年度も全職員で集まり、山王平成会の保育理念、かわしり保育園の保育目標、基本方針や新保育所保育指針の読み合わせを全職員で行った。1 月には、改定に携わった汐見先生をお招きし、ごしよの保育園と合同で勉強会を行うことができた。勉強会で学んだことを活かし、平成 30 年度の保育・教育活動を充実させていきたい。

### 2. 建て替えを目指し、園内外の修繕を行う。

平成 29 年度は、外壁工事、中庭工事、0 歳児保育室の床の張り替え、椅子・テーブルも新しく変えた。今後は、秋田市の保育動向を見ながら、建て替えや認定こども園化を視野に入れ、準備を進めていければと考えている。

### 3. 体を動かすことが大好きな子ども達を目指す。

今年度、カポエイラ教室や各スポーツ団体の主催するスポーツ教室に参加することができた。子ども達は心地よい緊張感の中、積極的に交流することができた。平成 30 年度も地域の方々、外部講師の方々との交流を深めながら子ども達が楽しめる活動を取り入れていきたい。

#### 4. より安全、安心な給食の提供を目指す。

平成 28 年度、秋田市より指摘を受け、平成 29 年度は管理栄養士の方々にご指導頂きながらより安全、安心な給食の提供を心がけた。経験豊富な栄養士の方々にご指導頂き、子ども達に喜んでもらえるメニューが増えるよう、厨房の職員に頑張ってもらった。学びを活かし、平成 30 年度も子ども達に美味しいといってもらえる給食提供を心がける。

#### 4. 施設整備及び備品等購入

- ・平成 29 年度事業計画で挙げた内容について報告する。

実施時期	件名(内容)	金額(単位:円)
5月	中庭工事(コンクリート除去・クッション貼り)	2,596,352
8月~9月	外壁工事	4,800,000
10月	0歳児保育室床張り替え	320,000
4月	園バス購入(ごしょの保育園と折半)	1,912,038
6月	0歳児テラスフェンス工事	190,000

#### 5. 部門別保育年度達成状況

##### (1) 乳児保育部門

0歳児：子ども、保護者の安心、安全のための環境整備。園内外の自然に興味をもち、安心できる保育者の元で生活できる子どもを目指します。

1歳児：子ども、保護者の安心、安全のための環境整備。園内外の自然に興味をもち、安心できる保育者の元で友達とのやりとりを楽しむ子どもを目指す。

2歳児：子ども、保護者の安心、安全のための環境整備。園内外の自然に興味を持ち、安心できる保育者の元で友達とのやりとりを楽しみ、情緒の安定を図り、生活できる子どもを目指す。

○新指針の読み合わせを行い、職員間で理解を深めることができた。理解に基づいた実践も行うことができた。

##### (2) 幼児保育部門

3歳児：子ども、保護者の安心、安全のための環境整備。園内外の自然に興味を持ち、安心できる保育者や友だちとのやりとりを楽しみながら、人と過ごす心地よさを感じながら生活する子どもを目指す。

4歳児：子ども、保護者の安心、安全のための環境整備。気の合う友達と共に協力する喜びを分かち合いながら、共に生活する喜びを味わう。

5歳児：子ども、保護者の安心、安全のための環境整備。保育士や友達と過ごす中で、自分で考え、行動し、規律を守って生活できる子どもを目指す。

○新指針の読み合わせを行い、職員間で理解を深めることができた。理解に基づいた実践も行うことができた。

##### (3) 給食部門

- ・安全、安心、おいしい給食の提供を心がける。
- ・職員間で話し合いながら、厨房職員が中心となって、食育年間計画を作成する。
- ・年度末に子どもの嗜好調査を実施し、今後の改善に努める。

・栄養計算ソフトを使い、栄養価の確認をしながら給食の提供を行う。  
○平成 28 年の監査で給食指摘があり、改善を行う為、管理栄養士の方に指導して頂きながら学んだ。厨房の職員も学ぶことが多い1年だった。

(4) 子育て支援部門

・5月より園開放を行う。昨年度より外部講師に依頼する日も設けた所、好評だったので、今年度も外部講師の講座を取り入れながら企画、立案を行う。

・講話会では、親子で楽しめる講話を検討する。

・昨年度は、一時預かり、他園の休日保育の受け入れが難しかったので、今年度は積極的な受け入れを行うようにしたい。

○園開放の人数は減少傾向なので今後、内容の検討を図る。講話会では親子で楽しめる内容が好評だったので、今年度も実施していきたい。一時預かり、休日保育の需要は少ないものの、受け入れた子ども達を丁寧に保育していけるようにしたい。

(5) 地域との交流

・川尻本町との連携強化を目指し、竿燈練習を行う。職員間も本町の練習に加わる機会を設け、より積極的な交流を目指す。

・ごしょの保育園、山王幼稚園との交流を持ち、同年代の子ども達との出会いを楽しみながら交流する機会を持つ。

・地域の方々のマンパワーを活かし、より積極的な交流を目指す。

○平成 29 年度は地域交流が活発ではあったものの、当園からの働きかけが弱かったように思う。今後、職員間で話し合い、検討していきたい。

6. 児童数・職員数 (空欄に数字を記入)

(1) 入所児童数の推移

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	2	9	11	11	13	11	57
5月	4	9	11	11	13	11	59
6月	5	9	11	11	13	11	60
7月	7	9	11	11	13	11	62
8月	7	9	11	11	13	11	62
9月	8	10	11	11	13	11	64
10月	8	10	11	11	13	11	64
11月	11	10	11	11	13	11	66
12月	11	10	11	11	13	11	67
1月	12	10	11	11	13	11	68
2月	13	10	11	11	13	11	69
3月	14	10	11	11	13	11	70
年平均園児数	8	9	11	11	13	11	64

## (2) 職員数(平成 30 年 3 月 31 日時点)

(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	9	0	0	0	0	0	10
嘱託職員	0	3	0	2	0	0	0	5
パート職員	0	4	0	2	1	1	1	9
シルバー人材	0	2	0	0	0	0	0	2

## 7. 実施行事

## (1) 実施行事一覧

月	日	名称	内容
4	7	進級・新入を祝う会	進級・新入をみんなで祝った。
	27	御山野楽校じゃがいも植え	ごしょの保育園のお友達とじゃがいも植えをした。
5	2	端午の節句集会	みんなで端午の節句を祝った。
	24	親子遠足	親子で遠足を楽しんだ。
	25	内科健診	嘱託医の先生に園児の健康診断をした。
6	1	歯科健診	嘱託歯科医の先生に園児の歯科健診をしてもらった。
	2	グリーンエコプロジェクト参加	秋田西武さんとゴーヤー植えをした。
	7	竿燈練習開始	川尻本町さんと一緒に竿燈練習をした。(週1回)
	17	清掃日	保護者会の皆さんと園内外を清掃した。
7	7	七夕集会(お話会も参加)	みんなで短冊を書いて七夕を楽しんだ。
8	1	竿燈壮行会	竿燈に参加するぞうくみをみんなで応援した。
	3	竿燈参加日	秋田市竿燈まつりにぞうくみ、卒園児と参加した。
	21	個人面談週間	お家の方とお子さんのことについて話し合った。
	25	お泊り会	ぞうくみがまんたらめへお泊り会に参加した。
9	9	運動会	みんなで体を動かして楽しんだ。
10	2	自由保育参観・参加週間	子ども達の普段の様子を見て頂いた。
	26	ハローウィンパレード	ハローウィンの仮装をして近隣を散歩した。
11	1	川尻小4年生活科授業のため来園	生活科授業の一環として来園した。(11月も開催)
	27	ネイガー交通安全教室	ご当地キャラクターネイガーと交通安全について学ぶ。
12	2	お楽しみ発表会	子ども達の張り切っている姿をお家の方に見て頂いた。
	9	講話会	親子で色育について学んだ。
	11	個人面談週間	子ども達の普段の様子について話し合った。
	22	クリスマス会	みんなでクリスマスをお祝いした。
1	5	新年を祝う会	新しい年をみんなでお祝いした。
	18	ハピネッツワクワクキャラバン	ハピネッツの選手と体を動かして楽しんだ。
2	2	豆まき会	みんなで豆まきを楽しんだ。
	24	保護者会総会・懇談会	総会后、クラス懇談を行った。
3	2	ひな祭り会	みんなでお雛様を楽しんだ。
	3	卒園式	ぞうくみの卒園をお祝いした。

	9	お別れ遠足	卒園を前にぞうくみがお出かけをした。
	27	ぞうくみとお別れ会	卒園を前にぞうくみとお別れ会をした。

\* 毎月、全園児がホールに集まり、誕生会を行った。誕生会后、保育参観、給食試食会を実施した。

\* 毎月、避難訓練をして災害に備えた。

(2) 来年度（平成30年度）に向けた検討事項

- ・ 職員の負担を軽減するのではなく、子どもの最善の利益、また子ども達の発達状況に応じた行事、園外活動の充実を図る。
- ・ 行事、園外活動への準備ができているものの、一部の職員への仕事量の偏りがあったり、片付けが進まずにいる時も見られる。今年度は反省、片付けまでを視野に入れ、活動できるようにしていきたい。
- ・ 園開放への利用者数が減少している。今後、利用しやすくなるように工夫していきたい。

## 8. 研修報告

### (1) 研修報告一覧

月	日	通常の研修名 (右記以外の研修名)	処遇改善 対象の研修名	内容
4	16	県保育士会総会		平成29年度事業報告、記念講演
5	15	教頭主任研修		白梅学園 師岡先生による講演
6	13		5年経験者研修	5年経験者としてのねらいと実践
8	22		5年経験者研修	子どもの主体的な活動を支える環境
	22		乳幼児担当者研修	乳幼児における保育実践、課題
9	1		乳幼児研修会	記録等について
	5		主任保育士等研修会	成徳短大 寺田先生の講演
10	18	防火管理者研修		防火管理取得に向けて
11	9	教頭主任研修会		グループ討議、県教育委員会の説明
	15		保健衛生研修会	緑園こどもクリニック院長による講演
	21		県保育士会研修会	気になる子の理解と発達の援助
	28		5年経験者研修	乳幼児期に大切にしたいこと
1	7		合同勉強会	汐見先生による講演
2	9		保育所長研修会	事故防止、事故発生時について
	14		保育所等マネジメント研修	マネジメントへの理解について

(2) 来年度（平成30年度）に向けた検討事項

- ・ 園内研修では昨年度、実施した保育指針の読み合わせへの理解を踏まえた上で、職員間でより理解を深めていけるようにしたい。また、緊急時に対する対応、処置などもロールプレイをしながら職員間で共通理解を深めていきたい。
- ・ 職員数の余裕を保ちながら、キャリアアップ対象の研修を進めていきたい。キャリアアップ研修の中でも職員の学びたい項目を聞きながら進めていけるようにしたい。

以上

# 平成 29 年度 阿久和保育園 事業報告

## 1. 事業内容

保育事業 一時預かり事業 延長保育事業 地域子育て支援事業

## 2. 保育園をめぐる状況

- ・今年度より保育指針の改定・処遇改善 が入りその対応及び職員周知を行なうことに重点を置いた。職員間ではきちんとした理解がまだできず園内外の研修や日々の保育の中での取り組みで理解していけるようにしていった。
- ・保育所保育指針の改定、処遇改善 の導入により、その対応及び職員周知を行なうことに重点を置いた。保育内容や保育の質（キャリアアップ等）の意識改革が必要なため、阿久和保育園においても不公平感が無いように進めたが、保育士の意識が追い付かず、保育指針や処遇改善 の理解度が薄い。ただし、後半から園内研修や会議時に内容確認を進めたことで、次年度に向けての見通しができてきた。
- ・民間移管の決定後、園長・主任交代など、人事異動が阿久和保育園中心に行われたが、職員の混乱がないように、引継ぎ等を丁寧に行っていく必要がある。

## 3. 重点施策

- ・平成 29 年度事業計画で挙げた内容について報告する。

### 1. クラス保育の充実

- ・クラス会議、乳幼児会議等こまめに行い確認をしながら進めたことで、無理のない保育をする事が出来つつある。改定保育指針の内容の理解が至らない部分が多々見受けられ、再度、保育指針と付け合せをしながらの振り返りが必要である。
- ・職員間の連携は、主任、フリーを中心に言い協力体制を整えてきた。今年度から位置付けされた専門リーダーと職務分野別リーダーが、自分自身がどのような役割を担ったらよいかなどが分からず、また、保育園としての役割分担や内容がきちんと確定されておらず、役職としての役割が出来なかった。次年度キャリアアップの内容を提示し、それに沿って役割を理解してもらい取り組めるようにしていきたい。

### 2. 職員の資質向上

- ・処遇改善 における研修は積極的に受講できるよう体制を考え取り組めたと思う。ただし、受講後の保育への反映が弱く、今後の保育にどの様に活かしていくかが課題である。

- ・園内研修の取り組みは、3園合同研修を含め予定時期の変更等はあったが進められたと思う。ただし、新人研修においては途中入社職員に対する対応がきちんとできず、次年度に取り組みを持ち越しとなった。

### 3、環境整備（保育室の玩具、遊具、絵本等）

- ・全クラスの環境の見直しは出来ず、クラスによっては、ほとんど見直されずに一年間同じ環境の下での保育が見られた。乳児においては、玩具等の入れ替えや年齢に合った玩具の提供ができつつあったが、全体的に次年度に再度環境整備を行っていく必要がある。

### 4、行事集会等の見直しと整理

- ・子どもの年齢に合った、行事参加を考え取り組めるようになってきた。集会形式の行事なども無理せず、2部形式にするなどの工夫も見られ、今後の取り組みに期待が持てるようになってきた。

### 5、地域交流（子育て支援）事業の取り組み

- ・地域支援年間計画の見直しを行った。地域の方々が過ごしやすい環境整備ができたことで、年間の利用者が4,000人を超えた。ただし、次年度以降は、利用者の人数だけを目的とせず、地域支援としての取り組み方と園児との関わり方を再考していく必要がある。

## 4. 施設整備及び備品等購入

- ・平成29年度事業計画で挙げた内容について報告する。

実施時期	件名（内容）	金額（単位：円）
6月	ICT環境整備・統合セキュリティ機器	595,800
4/1～5/21	0・1歳児室トイレの防臭設備	2,494,800
6月24日	高圧洗浄	291,600
7月6日	エアコンフィン清掃	496,800
6月	保育室柵部強化工事	124,200
6月	巧技台セット （巧技台・はしご・平均台・階段セット）	402,800

## 5. 部門別保育年度達成状況（経過記録）

### （1）乳児保育部

- ・乳児クラス全体の課題として、一人ひとりの発達に配慮しながら、子どもや保護者との安心できる信頼関係作りや環境作りを行う事を主に取り組んだ。環境作りの改善はなかなか進まなかったが、園児に対する対応等は改善されつつあって、行事や集会等の参加の仕方を見直すなど配慮ができてきた。

(2) 幼児保育部門

・年間行事の整理を行いながらクラス保育の充実を図ってきたが、その中でも行事に追われがちにいなってしまった一年間であったと思う。ただし、夏の合同保育を異年齢交流に変え、行事等などを通して園児同士の関わりは深まった。保育士同士の横の連携も幼児会議等を通じて出来てきた。

(3) 調理

・献立内容を1年間かけて検討した。新メニューの取り入れや、季節に合ったもの等を話し合いながら取り組んだ。  
・食育に関しても内容を整理し、より子どもたちに合った内容になるよう研究しながら進められたと思う。(夏のゼリーづくり、クッキーづくり、お餅つき等)

6. 児童数・職員数 (空欄に数字を記入)

(1) 入所児童数の推移

(単位:人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	14	16	16	16	16	17	95
5月	14	16	16	16	16	16	94
6月	14	16	16	16	16	16	94
7月	14	16	16	16	16	16	94
8月	14	16	16	16	16	16	94
9月	14	16	16	16	16	16	94
10月	14	16	16	16	15	16	93
11月	14	16	16	16	15	16	93
12月	14	16	16	16	15	16	93
1月	14	16	16	16	16	16	94
2月	14	16	16	16	16	16	94
3月	14	16	16	16	16	16	94
年平均園児数	14	16	16	16	15	16	94

(2) 職員数(平成30年3月31日時点)

(単位:人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	15	0	2	0	0	0	18
嘱託職員	0	3	0	0	0	1	0	4
パート職員	0	3	3	0	1	1	0	8

## 7. 実施行事

### (1) 実施行事一覧

月	日	名称	内容
4	3	入園・進級の日	入園や進級をお祝いする。
	12	0歳児懇談会	年間のクラス計画を話し、その後懇談を行う。
	18	タケノコ掘り	地域の方の山で4、5歳児が筍掘りを体験する。
	19	1歳児懇談会	年間のクラス計画を話し、その後懇談を行う。
	20	2歳児懇談会	年間のクラス計画を話し、その後懇談を行う。
	28	子どもの日集会	端午の節句の意味を知り成長を祝う。
5	9	昔遊び	地域のお年寄りに昔の遊びを教わる。
	16	3歳児懇談会	年間のクラス計画を話し、その後懇談を行う。
	17	4歳児懇談会	年間のクラス計画を話し、その後懇談を行う。
	17	らんらんデー	瀬谷区内の保育園児（主に5歳児）との交流。
	18	5歳児懇談会	年間のクラス計画を話し、その後懇談を行う。
	18	園児内科健診	嘱託医による全園児の内科健診を行う。
6	24	幼児お弁当遠足	幼児クラスがお弁当を持参し公園へ散歩に行く。
	1	3R 夢出前教室	清掃局によるゴミの分別指導など
	8	歯科健診	嘱託医による全園児の歯科検診を行う。
	13	昔遊び	地域のお年寄りに昔の遊びを教わる。
	14	避難訓練・防災訓練	避難訓練後、消防署による防災訓練などに参加。
	23	ジャガイモ掘り	地域の方の畑でジャガイモ掘りを行い収穫体験する
7	28	ごっこ遊び	4,5歳児を中心にごっこ遊びを楽しむ。
	3	プール開き	プール遊びを安全に楽しく行う為の約束確認。
	7	七夕集会	笹に短冊や飾りをつけ七夕の由来を知る。
	11	昔遊び	地域のお年寄りに昔の遊びを教わる。
8	21	夏祭り	父母の会と共催で盆踊りや出店を親子で楽しむ。
	8	スイカ割り	スイカ割りを楽しく経験する。
	30	納涼祭り	幼児を中心に相撲大会やゲームを楽しむ。
9	31	プールじまい	各クラスにてプールでの思い出を振り返る。
	12	昔遊び	地域のお年寄りに昔の遊びを教わる。
10	7	運動会	日々の運動遊びや体操、ダンスを披露する。
	19	お弁当遠足	2~5歳児がお弁当を持参し公園へ散歩に行く。
	23	ヤマト運輸交通安全教室	交通ルールを教わり、乗車体験を楽しむ。
	30	相鉄 100 周年記念	相模鉄道 100 周年イベントに参加する。
	31	ハロウィン	仮装し各コーナーを回りやりとりを楽しむ。
11	1	さつま芋掘り	地域の方の畑でさつま芋掘りを行い収穫体験する
	16	園児内科健診	嘱託医による全園児の内科健診を行う。
12	9	発表会	日々のごっこ遊びや歌、劇遊び、合奏を発表する。
	12	昔遊び	地域のお年寄りに昔の遊びを教わる。

	14	人形劇	人形劇を見て楽しむ。
	21	お楽しみ会	消防音楽隊の演奏を楽しみサタから贈り物を貰う
	26	餅つき	餅つきを体験し、新年を迎える準備をする。
1	9	子ども新年会	干支の由来やお正月遊びを知り楽しむ。
	17	科学遊び	身近な素材を用いて科学遊び玩具を作り体験する。
	30	影絵	影絵の不思議な世界を楽しみ年長児は体験する。
2	1	5歳児懇談会	一年間の様子を伝え、お茶のお点前を披露する。
	2	節分	節分の由来を知り、豆まきを楽しむ。
	2	4歳児懇談会	一年間の様子を伝えると共に、進級に向け話をする
	5	3歳児懇談会	一年間の様子を伝えると共に、進級に向け話をする
	6	2歳児懇談会	一年間の様子を伝えると共に、進級に向け話をする
	7	1歳児懇談会	一年間の様子を伝えると共に、進級に向け話をする
	8	0歳児懇談会	一年間の様子を伝えると共に、進級に向け話をする
3	15	マジックショー	手品を見て楽しむ。
	1	お別れ遠足	5歳児と園外保育を楽しみ思い出作りをする。
	2	ひな祭り	ひな祭りの由来を知り、女の子の節句を祝う。
	6	さくら組お別れバス遠足	5歳児が園バスで、最後のお弁当遠足を楽しむ。
	9	お別れ会	年長児の卒園を職員・園児みんなで喜び祝う。
	17	卒園式	年長児の卒園を喜び、祝う。

(2) 来年度（平成30年度）に向けた検討事項

・行事の整理と参加の仕方を見直しする必要がある。

（地域支援事業との連携、ごっこ遊び、納涼祭等）

・平成29年度で父母会が廃止となった為、夏祭り、人形劇の取組みを検討し、保護者に対して、早急に日程や内容を知らせなくてはならない。

## 8. 研修報告

### (1) 研修報告一覧

月	日	通常の研修名 (右記以外の研修名)	処遇改善 対象の研修名	内容
4	11	幼保小交流事業		担当者の顔合わせ。年間計画作成
5	29	衛生管理講習会		園生活における衛生管理方法など
6	2	新任保育士研修		新人保育士の心構えなど
	5	幼児教育研修		幼児期における子どもの発達など
	9	ムーブメント公開保育		ムーブメントの実践など
	16	2歳児保育研修		2歳児の特徴や発達過程など
	20	カウンセリングを活かした 保護者対応講座		事例を通じた保護者対応など
	26	4,5歳児保育研修		4,5歳児の発達の特徴など
7	4	カウンセリングを活かした		エゴグラフを利用した実践形式など

		保護者対応		
	5	主任保育士研修		保育所における人材育成など
	11	食物アレルギー講習会		保育所などにおけるアレルギー対応
	25	発達障害について ～診断するということ～		様々な発達障害について
	26	てんかん知識と介助法		てんかんの発作と対応、治療と注意事項
8	9	新人職員研修		コミュニケーションをとる為の知識とスキルについて
9	1	4,5歳児保育研修		4,5歳児の発達の特徴など
	5	感染症対策		感染症の基礎知識、発生時の対応
	13	リスクマネジメント		リスクマネジメントについて
	14	主任リーダー研修		保育におけるリスク、命に関わる安全など
10	2	乳児保育研修		乳児保育について
	16	0歳児保育研修		0歳児保育について
	20	幼児食調理実習研修会		調理実習など
11	6	カウンセリングマインド研修		発達障害、モンスターペアレントについて
	7	0歳児保育研修		0歳児保育について
	14	育てにくい子には訳がある		自閉症スペクトラム児の対応など
	16		食育アレルギー対応	食物アレルギーの食事と管理
	18		食育アレルギー対応	//
	19		食育アレルギー対応	//
	20	保育施設障害児保育		発達障害の理解と支援など
	23		マネジメント	マネジメントの役割など
12	5		乳児保育	乳児保育の基本など
	10		マネジメント	職員の資質向上など
	12	育てにくい子には訳がある		支援の必要な子などの個別配慮など
	12		乳児保育	乳児保育の計画、記録、評価など
	17		マネジメント	働きやすい環境作りなど
	18	保育要録学習会		要録の捉え方、記入について
	19		乳児保育	子育て支援、人材育成など
1	6		保護者支援・子育て支援	保護者支援・子育て支援の意義など
	10	保育所などにおけるアレルギー対応		食物アレルギーについて
	17	子どもの権利条約		子どもの権利条約など
	17	瀬谷区乳児保育実践研修		中屋敷保育園での実習
	21		保護者支援・子育て支援	保護者に対する相談援助など
2	2	乳児保育研修		乳児の各年齢の特徴など
	8	西柴保育園研修		同系列園での実習
	9		保護者支援・子育て支援	地域における子育て支援など

	13	西柴保育園研修		同系列園での実習
	20	新任保育士研修		保育に活かすコミュニケーション技術
	27	保育に求められるリーダーシップの育成		リーダーに求められる役割など
	27	コミュニケーション研修		保育現場におけるコミュニケーション力など
3	6	西柴保育園研修		同系列園での実習
	6		乳児保育	乳幼児保育の意義など
	9		乳児保育	保育所保育指針改定のポイントなど
	16		乳児保育	指針改定の背景など

(2) 来年度（平成 30 年度）に向けた検討事項

- ・キャリアアップ研修と一般研修をきちんと振り分け、公平に研修が受けられるようにする必要がある。
- ・改定保育所保育指針についての園内研修、新人研修、3園合同研修のやり方の検討。

以上

# 平成 29 年度 西柴保育園事業報告

## 1. 事業内容

### ○保育事業

#### ・一時預かり事業

専任保育士の雇用は無く、クラス吸収型なので園行事、職員体制によっては受け入れのお断りをする場合があった。

一時保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	0名	0名	3名	15名	13名	3名	6名	8名	8名	8名	9名	6名

#### ・延長保育事業

延長保育	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	18名	20名	19名	21名	22名	18名	27名	14名	23名	20名	16名	17名

### ○地域育児支援事業

#### ・園庭開放（週 2 回）、育児講座（年 4 回）

交流保育（リズム遊び、七夕集会、運動会、運動会ごっこ、公園愛護会との焼き芋会、ハッピーデイコンサート、お正月遊びの会、リズム遊び、節分の会）

体験給食（月 2 回）、誕生会参加（月 1 回）

## 2. 保育園をめぐる状況

### ○人事関係

#### ・平成 29 年度内退職者 6 名

正規雇用保育士 3 名（8 月末 1 名、3 月末 2 名）

栄養士（調理職員）1 名（短時間正規雇用 2 月末）、非常勤 1 名（保育補助）

園長 1 名

### ○園舎建替え

#### ・本園舎建替えに伴う仮園舎建設の「説明会開催」「設計」「施工業者選定」等

仮設園舎建設における状況報告会：平成 29 年 10 月 28 日（地域・在園児保護者）

本園舎建替えに関する説明会：平成 29 年 11 月 3 日（地域・在園児保護者）

本園舎建替えに関する説明会：平成 30 年 3 月 11 日（地域・在園児保護者）

### ○当期資金収支差額の低迷

#### ・保育士派遣会社への紹介派遣料の支出（平成 29 年度分：286 万円）

#### ・仮園舎、本園舎建設に関する支出（平成 29 年度分：1,010 万円）

○定員割れ（定員 60 名）

西柴保育園 入所児童数の推移

民間移管後の山王平成会運営（7 力年度：平成 23 年度～29 年度）

		23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
入所児童数	4 月 1 日の 在籍児童数	54 名	55 名	45 名	50 名	49 名	52 名	58 名
	3 月 31 日の 在籍児童数	54 名	55 名	54 名	51 名	57 名	52 名	58 名

### 3. 重点施策

#### (1) 人材育成の強化（職員体制を充実・安定させ、保育の質の向上に取り組む。）

##### ○メンター制度導入の反省・課題・評価

- ・メンター（指導をする側、相談を受ける側）の教育が必要
- ・メンティー（指導される側、相談する側）は横の繋がりが強いいため、同期同士の話し合いの場を設けると意見交換が盛んになる）
- ・メンター制度の場合、1 対 1 の関係となるが「経験豊富な保育士 = 有能なメンター」とは限らないのでこの制度を継続していくのであればメンターの育成が急務となる。

##### ○乳児リーダー・幼児リーダーの任命（専門リーダーとして任命）

- ・処遇改善 を利用し各任命を行なう。乳児会議、幼児会議を積極的に開催し、意見交換や情報共有に努めた。

##### ○非常勤職員リーダーの任命（分野別リーダーとして任命）

- ・処遇改善 を利用し任命を行なう。主任を補助しながら、非常勤職員会議の窓口となり、意見交換や情報共有に努めた。

##### ○新入保育士研修（実績：3 月、5 月、12 月）

##### ○横浜姉妹園との交流（平成 30 年 2 月 17 日 わらべ歌等）

#### (2) 地域・育児支援専任の配置

主任を地域・育児支援専任としたことによって、継続的に地域（社会福祉協議会 東部地区、公園愛護会、西柴小学校・中学校、地域サークル、未就園児家庭）との関係性を良好に築くことができた。

#### (3) 園舎（仮園舎・新園舎）整備の推移

子どもたちの安全と、保育活動の充実を見据え、また保護者、地域住民の方々からの意見・要望を精査しながら、仮園舎、本園舎の建替えを進めていった。

(4) 第三者の評価の受審

- 第三者評価を受審するにあたっての園内研修（研修報告参照）
- 訪問調査（11月14日、15日）

(5) 身体活動の充実

- 横浜 FC とのサッカー交流
- リズム：月1回程度行なわれている横浜市のリズム研修に参加し、そこで学んだ内容を、西柴保育園のリズム活動に反映させる。
- 体操教室：横浜市体育協会から指導員を招き、幼児クラスを対象とした体操教室を年3回実施した。

4. 施設整備及び備品等購入

- ・平成29年度事業計画で挙げた内容について報告する。

実施時期	件名（内容）	金額（単位：円）
平成30年1月 ～4月	西柴保育園の仮園舎の設計・建設(内訳下記)	計¥42,749,000
H30年3月	仮園舎側溝グレーチング 工事(秋葉建設工業)	¥764,000
H30年3月	仮園舎 厨房機器一式(ホシザキ湘南(株))	¥1,180,000
H30年3月	仮園舎 建方費一式 (大和リース(株))	¥39,700,000
H30年3月	仮園舎 パース図代 (大和リース(株))	¥411,000
H30年3月	仮園舎 駐車場整地工事(秋葉建設工業)	¥694,000

5. 部門別保育年度達成状況（経過記録）

- 1歳児：金沢区と調整した上で受け入れ児童数を定員より1名増やし、9名でスタートする。（内2名はきょうだい利用）保護者内で“ママ友”的な集まりも定期的に行なわれ、保護者同士や園との関係性も良好である。
- 『園生活に慣れ、一日の保育の流れに沿って食事や睡眠・排泄などの生活の活動を保育者と一緒にする。』『保育者とかかわる中で言葉を覚え、要求や自分の気持ちを簡単な言葉で伝えようとする』『保育者との信頼関係をもとに、友だちへの関心をもち、一緒に遊ぶ楽しさを味わう』のクラス目標に努めた。

2 歳児：金沢区と調整した上で受け入れ児童数を定員より 1 名増やし、11 名でスタートする。認定には至っていないが、おとなの見守りが必要な児が在籍していたため、非常勤職員を必要に応じて配置した。2 歳児クラス担任（4 月入職）が 8 月末で退職したため、フリー保育士を後任とした。

『担当保育者に見守られながら簡単な身の回りのことを自分でしようとする』  
『友だちとの関わりができ、一緒に遊んだり行動したりつもり遊びを楽しんだりする』  
『運動用具を使った遊びやリズム遊びを通して身のこなし方がわかっていく』のクラス目標に努めた。

3 歳児：来年度の仮設園舎・本園舎の建替えを考慮し、12 名（定員 12 名）でスタートする。内 4 名が H29 年 4 月からの入所であった。

『園生活での過ごし方が分かり、自分から進んで身のまわりの支度や始末をしようとする』  
『感じたことや思ったことを友だちや保育者に話し気持ちを共感してもらって嬉しさを味わう。また、相手の話に興味を持ち聞こうとする気持ちを待つ』  
『全身を使った遊びや指先を使った遊びの楽しさを知り友だちと一緒に遊ぼうとする』のクラス目標に努めた。

4 歳児：受け入れ上限の 14 名（定員：14 名）でスタートし、年間を通して 14 名を維持することができた。支援が必要な児童（1 対 1 認定児童 2 名、認定されていない児童 1 名）が在籍していたため、クラス担任 1 名と非常勤職員 2～3 名を配置しクラス運営を行なう。

『基本的な生活習慣やマナーを身に付け、自分でできることの範囲を広げ、意欲を持って楽しく生活する』  
『遊びなどの活動を通し友だちと共通の目的を持ち、集団生活を楽しむ』  
『自然事象や環境に興味・関心を持ち、自分から関わり様々な生活の中で自己表現する力を身に付ける』のクラス目標に努めた。

5 歳児：年間を通して 13 名の在籍児童数であった。（定員 16 名）

担任が中心となり、関わりが必要な児童や家庭（保護者）の対応に努める。

『友だちと一緒に園生活を十分楽しみ、意欲的に遊びや生活に取り組むとともに、主体的に行動して充実感を味わう』  
『クラスの友だちとの関わりを通して社会生活における必要な態度を身に付け、みんなで協力したり役割を分担したりしながら目的を成し遂げる喜びを味わう』  
『さまざまな表現を楽しみ、意欲的、創造的に遊びや行事に取り組む』のクラス目標に努めた。

調理：正規の調理職員 3 名（3 名とも栄養士の有資格者 内 1 名は 6 時間の正規雇用）で年間を通して、調理業務を行なう。2 月末付けで 6 時間正規職員が退職する。

『乳幼児の食事は、心身の健全な発育発達、健康の保持増進を助け、また、栄養・食生活に対する理解を深めて、望ましい食習慣・生活習慣を育てていくこと』の目標に努めた。

6. 児童数・職員数（空欄に数字を記入）

(1) 入所児童数の推移

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	-	9	11	11	14	13	58
5月	-	9	11	11	14	13	58
6月	-	9	11	11	14	13	58
7月	-	9	11	11	14	13	58
8月	-	9	11	11	14	13	58
9月	-	9	11	11	14	13	58
10月	-	9	11	11	14	13	58
11月	-	9	11	11	14	13	58
12月	-	9	11	11	14	13	58
1月	-	9	11	11	14	13	58
2月	-	9	11	11	14	13	58
3月	-	9	11	11	14	13	58
年平均園児数	-	9	11	11	14	13	58

(2) 職員数(平成 30 年 3 月 31 日時点)

(単位：人)

職種	園長	保育士	保育補助	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	7	0	2	0	1	0	11
嘱託職員	0	1	0	0	0	0	0	1
パート職員	0	6	4	0	0	0	0	10

7. 実施行事

(1) 実施行事一覧

月	日	名称	内容
4	1	入園・進級を祝う会	新入園児、進級児童を祝う
	10	避難訓練	午前中の時間帯に地震を想定した避難訓練を行う
	10	5歳児 懇談会	クラス担任と保護者との情報交換を行う
	18	4月誕生会	4月生まれの児童の誕生を祝う
5		こどもの日の会	日本の伝統行事の意味や大切さを伝える
		茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
		京急電鉄検車区見学	京急車両の検車区を見学し、地域との交流を深める
		5月誕生会	5月生まれの児童の誕生を祝う
		懇談会	3歳児 4歳児 1,2歳児
6		買い物ツアー・カレー作り	年長を中心に食育活動を行なう
		茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
		6月誕生会	6月生まれの児童の誕生を祝う

		横浜 FC サッカー交流	横浜 FC スタッフとのサッカー交流
7		年長児 三園交流（第一回）	釜利谷、あおぞら谷津、西柴保育園の三園交流
		プール開き	安全祈願をし、子どもたちとプール遊びの約束をする
		七夕の会	七夕の由来を知り、楽しんで行事に参加する
		茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
		7月誕生会	7月生まれの児童の誕生を祝う
		はつらつキンダー事業	横浜市体育協会職員から運動遊びの訪問指導を受ける
		夕涼み会	自治会主催の夏祭りに参加し、踊りを披露する
8		避難訓練	長時間保育中の火災を想定した訓練
		茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
		8月誕生会	8月生まれの児童の誕生を祝う
		はつらつキンダー事業	横浜市体育協会職員から運動遊びの訪問指導を受ける
		おまつりごっこ	幼児の各クラスがお店を出し、お祭りの雰囲気を楽しむ
9		防災訓練	警戒宣言発令を想定した訓練
		プール終い	安全に活動を終わられることを感謝し、個々の上達を称
		はつらつキンダー事業	横浜市体育協会職員から運動遊びの訪問指導を受ける
		9月誕生会	9月生まれの児童の誕生を祝う
		運動会	運動遊びの成果を参観者の前で披露し、皆で楽しむ
10		運動会ごっこ	年中が主体となり、地域の方と一緒にごっこ遊びを楽しむ
		避難訓練	二次避難として、西柴小学校まで避難する
		西柴小給食体験	5年生にエスコートしてもらい、給食を体験する
		10月誕生会・	10月生まれの児童の誕生を祝う
11		公園愛護会との焼き芋会	第一公園で地域交流として焼き芋会を行う
		三園交流ドッジボール大会	釜利谷、あおぞら谷津、西柴保育園でドッジボール大会
		11月誕生会・	11月生まれの児童の誕生を祝う
12		お楽しみ会	日頃の表現活動を保護者や地域の方の前で発表する
		茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
		ハッピーデイコンサート	地域のハーモニカグループの演奏を聴き交流をもつ
		横浜 FC サッカー交流	横浜 FC スタッフとのサッカー交流
		12月誕生会・	12月生まれの児童の誕生を祝う
1		お正月遊びの会	祖父母や地域の方と一緒に正月遊びを行い楽しむ
		年長すみれ組 懇談会	子どもの成長を語り合い、進級に向けて確認し合う
		三園交流ドッジボール大会	釜利谷、あおぞら谷津、西柴保育園でドッジボール大会
		横浜 FC サッカー交流	横浜 FC スタッフとのサッカー交流
2		節分の会	節分の由来や豆まきについて話を聞き、豆まきを行う
		茶道教室	年間を通して茶道を学ぶ
		たんぽぽ・ゆり・ちゅうりっぷ	子どもの成長を語り合い、進級に向けて確認し合う
3		ひなまつりの会	ひなまつりの会を皆でお祝いする
		お別れ遠足（卒園児のみ）	保育園の思い出で作りとして遠足を楽しむ
		入園説明会	入園する保護者に説明、情報交換を行う
		卒園式	年長児の卒園を皆で祝う

(2) 来年度（平成 30 年度）に向けた検討事項

- 仮園舎での保育活動・行事を充実するために、園バス等を積極的に活用する。
- 仮設園舎、新園舎と新しい保育環境となるので、行事や活動に追われることなく、安全かつ丁寧な保育に努める。
- 保護者との情報交換を丁寧に行い、信頼関係の構築に努める。
- 姉妹園との交流（子どもたち）

8. 研修報告

(1) 研修報告一覧

(園内研修)

月	日	通常の研修名 (右記以外の研修名)	処遇改善 対象の 研修名	内容
4	4日 7日	(新)保育所保育指針研修		<p>今回の改訂のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>乳児・1歳児以上3歳児未満児の保育に関する記載の充実。</li> <li>非認知的能力の意味。</li> <li>非認知的能力、社会情動的スキルの伸ばし方</li> <li>愛着行動、基本的信頼関係、自己肯定感。</li> <li>擁護と教育の一体的展開。</li> <li>学びの芽生え、学びの支援。</li> <li>全体的な計画。</li> <li>保育所保育における幼児教育の積極的な位置づけ。</li> <li>育みたい資質・能力の三つの柱。</li> <li>幼児期の終わりまでに育ちが期待される10の姿。</li> <li>環境を通じた教育・保育。</li> <li>乳児の保育の領域の記述。</li> <li>「内容の取り扱い」の記述。</li> <li>幼保小連携の強化。</li> <li>「災害の備え」の項の新設。</li> <li>食育の重視。</li> <li>地域の子育て支援の重視。</li> <li>キャリアパスの明確化と研修の重視</li> </ul>
5	8日 12日	保育士のメンタルヘルス		<p>参考資料：○保育士のメンタルヘルス～健康でやりがいをもって働ける職場づくり～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○職員の健康づくり計画</li> <li>○西柴保育園のメンター制度</li> </ul> <p>園長講話：職員間のコミュニケーションを充実させ、自己洞察力、対人関係のスキルを高めていきたい。</p>
6	6日	メンター制度		<p>参考資料：○西柴保育園 メンター制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メンター制度の基本</li> <li>・メンター制度導入の目的</li> <li>・メンターの決定と任命</li> <li>・メンター研修</li> </ul>

	26日	第三者評価研修(第1回)		自己評価:評価領域 利用者(子ども本人)の尊重 - 1:保育方針の共通理解と保育課程等の作成 - 2:子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施 - 3:快適な施設環境の確保 - 4:一人ひとりの子どもに個別に対応する努力 - 5:保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み - 6:苦情解決体制
7	4日	虐待防止 (子どもの貧困を考える)		参考資料:○保育士・保育教諭として、子どもの貧困を考える ・子どもの貧困のとらえ方 ・対応支援の留意点 ・連携することが想定される他の関係機関 ・団体の例
8	8日	人権擁護		参考資料:○人権擁護のためのセルフチェックリスト
	10日	第三者評価研修(第2回)		自己評価:評価領域 サービス内容 - 1:保育内容 - 2:健康管理・衛生管理・安全管理 - 3:人権の尊重 - 4:保護者との交流・連携
9	15日	第三者評価研修(第3回)		自己評価 評価領域 地域支援機能 評価領域 開かれた運営 評価領域 人材育成・援助技術の向上
10	10日	第三者評価研修(第4回)		自己評価 施設のアピールポイント 施設が課題と考えていること、取り組んでいきたいこと
	25日	メンター研修 延期		資料を使ったディスカッション
11	8日	第三者評価の結果・報告		・職員アンケート、利用者家族アンケートの集計内容・評価
12	13日	メンター研修		資料を使ったディスカッション (保育士の離職について)
1	9日	食物アレルギー 新保育所保育指針		金沢区園長会研修資料 秋田で行なわれた汐見先生の研修資料を基に研修

(外部研修)

月	日	研修名 (右記以外の研修名)	処遇改善 対象 の研修名	内容
5	16日	子どもの心に寄り添う カウンセリング研究会 1回		カウンセリングの基礎的な考え方を学ぶことによってカウンセリングマインドを身につけ、日常の保育・教育に活かす。また、幼保小の教諭・保育士が共同で研究に取り組むことによって、相互理解を深め、教育連携に役立てる。
	25日	金沢区教育・保育施設 職員研修「リーダー研		保育の中での「子どもの人権」について学び、園のリーダーとして研修で学んだことを園内研

		修」 1回		修などで情報共有し、保育の質の向上を目指す。
	29日	第1回定例実践研修		1年間(計8回)研究会に参加して自分の保育を振り返り、保育の質の向上に努める。
	31日	園内研修リーダー育成研修		園内研修は職員同士が保育の課題等への共通理解や協働性を高めるため、重要とされている。園内研修を、より職員が主体的に学び合える場としたいと考えている方を対象とした研修
6	5日	幼児教育研修		幼児の発達過程や理念・保育技術などを踏まえ、幼児教育を学び、保育者としての質の向上を目指す
	6日	子どもの心に寄り添う カウンセリング研究会 2回		カウンセリングの基礎的な考え方を学ぶことによってカウンセリングマインドを身につけ、日常の保育・教育に活かす。また、幼保小の教諭・保育士が共同で研究に取り組むことによって、相互理解を深め、教育連携に役立てる。
	10日	第2回保育実践研修		1年間(計8回)研究会に参加して自分の保育を振り返り、保育の質の向上に努める
	12日	ファシリテーター養成		ファシリテーターの役割を学び、保育研究や研修等を有意義に行なうことで、保育の質の向上につなげる人材を養成することを目的とする。
	13日	インクルージョン保育		発達が気になる子どもに対する「インクルーシブ保育」の考え方に沿って実践的で具体的な対方法や工夫を学ぶことを目的とする。
	16日	子どもの心に寄り添う カウンセリング研究会 3回		カウンセリングの基礎的な考え方を学ぶことによってカウンセリングマインドを身につけ、日常の保育・教育に活かす。また、幼保小の教諭・保育士が共同で研究に取り組むことによって、相互理解を深め、教育連携に役立てる。
	22日	金沢区教育・保育施設 職員研修「リーダー研 修」2回		保育の中での「子どもの人権」について学び、園のリーダーとして研修で学んだことを園内研修などで情報共有し、保育の質の向上を目指す。
	30日	ファシリテーター養成		ファシリテーターの役割を学び、保育研究や研修等を有意義に行なうことで、保育の質の向上につなげる人材を養成することを目的とする
7	4日	園内研修リーダー育成 研修 2回		園内研修は職員同士が保育の課題等への共通理解や協働性を高めるため、重要とされている。園内研修を、より職員が主体的に学び合える場としたいと考えている方を対象とした研修
	6日	児童虐待		児童虐待の現状や児童虐待対応の基本的な考え方について学ぶと共に児童虐待が及ぼす子どもの心身への影響などについて理解を深める。
	7日	子どもの心に寄り添う カウンセリング研究会 4回		カウンセリングの基礎的な考え方を学ぶことによってカウンセリングマインドを身につけ、日常の保育・教育に活かす。また、幼保小の教諭・保育士が共同で研究に取り組むことによって、相互理解を深め、教育連携に役立てる。
	11日	食物アレルギー講習会		ガイドラインをもとに食物アレルギーをはじめとするアレルギー疾患について正しく理解し、保育所等の職員の資質向上を図る。
	18日	障害の理解 基礎編		発達障害の基礎理解、障害児保育の基本的な考え方と具体的支援、運動発達障害の基礎知識と

				生活支援、保護者支援の基本的な考え方を学ぶ。
	20日	幼児教育研修		幼児の発達過程や理念・保育技術などを踏まえ、幼児教育を学び、保育所としての質の向上を目指す。
	21日	第3回定例実践研修		1年間（計8回）研究会に参加して自分の保育を振り返り、保育の質の向上に努める。
	24日	乳児保育研修		乳児期の発達やかかわり等を学び、保育者としての質の向上を目指す
	26日	要支援研修 南部療育センターの施設見学・施設説明		発達障害や特別な支援が必要な子どもたちにどのような支援が必要であるのか、一人ひとりにあった支援にしかたについて学び、日常の保育に活かし、向上を図る。
	30日	ファシリテーター養成		ファシリテーターの役割を学び、保育研究や研修等を有意義に行なうことで、保育の質の向上につなげる人材を養成することを目的とする。
8	21日	金沢区 要支援研修 南部療育センター主催 研修		発達障害や特別な支援が必要な子どもたちにどのような支援が必要であるのか、一人ひとりにあった支援にしかたについて学び、日常の保育に活かし、向上を図る。
	22日	金沢区 要支援研修 南部療育センター主催 研修		発達障害や特別な支援が必要な子どもたちにどのような支援が必要であるのか、一人ひとりにあった支援にしかたについて学び、日常の保育に活かし、向上を図る。
	24日	子どもと保護者の心理学入門		発達心理学の基礎を習得し、子どもや保護者への理解を深めていくことで、保育士としての専門性を高めることを目的とする
9	1日	保護者対応研修		「困り感のない保護者への対応」について
	5日	子どもの心に寄り添う カウンセリング研究会 5回		カウンセリングの基礎的な考え方を学ぶことによってカウンセリングマインドを身につけ、日常の保育・教育に活かす。また、幼保小の教諭・保育士が共同で研究に取り組むことによって、相互理解を深め、教育連携に役立てる。
	5日	第4回定例実践研修		1年間（計8回）研究会に参加して自分の保育を振り返り、保育の質の向上に努める。
	9日	リスクマネジメント		深刻な事故を知らせずに深刻な事故を予防できない」という観点から事例を学び、睡眠中の死亡や他の深刻事故の予防、対処する基礎知識を習得し保育に活かす。
	11日	園内研修リーダー育成 研修 3回		園内研修は職員同士が保育の課題等への共通理解や協働性を高めるため、重要とされている。園内研修を、より職員が主体的に学び合える場としたいと考えている方を対象とした研修
	13日	リスクマネジメント		深刻な事故を知らせずに深刻な事故を予防できない」という観点から事例を学び、睡眠中の死亡や他の深刻事故の予防、対処する基礎知識を習得し保育に活かす。
	21日	金沢区教育・保育施設 職員研修「リーダー研 修」 3回		保育の中での「子どもの人権」について学び、園のリーダーとして研修で学んだことを園内研修などで情報共有し、保育の質の向上を目指す。
10	2日	乳児保育研修		乳児期の発達やかかわり等を学び、保育者とし

			での質の向上を目指す。
	5日	子どもの心に寄り添う カウンセリング研究会 6回	カウンセリングの基礎的な考え方を学ぶこと によってカウンセリングマインドを身につけ、日 常の保育・教育に活かす。また、幼保小の教諭・ 保育士が共同で研究に取り組むことによって、 相互理解を深め、教育連携に役立てる。
	6日	保育福祉部会 給食研 究会	テーマ「行事食：おせち・お正月料理」
	12日	保育指針研修	改定のポイントを知り、保育で大切にすべき事 を学び、実際の保育に活かしていくことを目的 とする。
	11日	調理セミナー	クリスマスメニュー
	17日	障がい児保育を考える	新しい障害児保育の考え方である保育のユニバ ーサルデザイン化について考えを深め、保育に いかすことを目的とする。
	23日	インクルージョン保育	発達が気になる子どもに対する「インクルーシ ブ保育」の考え方に沿って実践的で具体的な対 方法や工夫を学ぶことを目的とする。
	26日	中堅研修	職場でのコミュニケーションのポイントをおさ え、リーダー的役割と後輩指導についても考え る。
	30日	乳児保育研修	乳児期の発達やかかわり等を学び、保育者とし ての質の向上を目指す。
11	7日	子どもの心に寄り添う カウンセリング研究会 7回	カウンセリングの基礎的な考え方を学ぶこと によってカウンセリングマインドを身につけ、日 常の保育・教育に活かす。また、幼保小の教諭・ 保育士が共同で研究に取り組むことによって、 相互理解を深め、教育連携に役立てる。
	8日	金沢区 要支援研修 南部療育センター主催 研修	発達障害や特別な支援が必要な子どもたちにど うのような支援が必要であるのか、一人ひとり にあった支援にしかたについて学び、日常の保 育に活かし、向上を図る。
	16日	第5回定例実践研修	1年間（計8回）研究会に参加して自分の保育 を振り返り、保育の質の向上に努める。
	17日	インクルージョン保育	発達が気になる子どもに対する「インクルーシ ブ保育」の考え方に沿って実践的で具体的な対 方法や工夫を学ぶことを目的とする。
	21日	子どもの食育研修	食育の視点から、子どもの発育・発達に応じた 食べる力を育むための、具体的な支援技術を学 ぶことをテーマに実施します。
	22日	給食施設栄養管理研修 会	給食からアプローチする健康づくりを進めるこ とを目的とする
	28日	園内研修リーダー育成 研修 4回	園内研修は職員同士が保育の課題等への共通理 解や協働性を高めるため、重要とされている。 園内研修を、より職員が主体的に学び合える場 としたいと考えている方を対象とした研修
12	6日	子どもの食育研修	食育の視点から、子どもの発育・発達に応じた 食べる力を育むための、具体的な支援技術を学 ぶことをテーマに実施します。
	10日	食物アレルギー	ガイドラインをもとに食物アレルギーをはじめ とするアレルギー疾患について正しく理解し、 保育所等の職員の資質向上を図る。

	12日	子どもの心に寄り添う カウンセリング研究会 8回		カウンセリングの基礎的な考え方を学ぶことによってカウンセリングマインドを身につけ、日常の保育・教育に活かす。また、幼保小の教諭・保育士が共同で研究に取り組むことによって、相互理解を深め、教育連携に役立てる。
	19日	保育指針研修		改定のポイントを知り、保育で大切にすべき事を学び、実際の保育に活かしていくことを目的とする。
	26日	第6回定例実践研修		1年間(計8回)研究会に参加して自分の保育を振り返り、保育の質の向上に努める。
1	11日	子どもの食育研修		食育の視点から、子どもの発育・発達に応じた食べる力を育むための、具体的な支援技術を学ぶことをテーマに実施します。
	19日	給食施設栄養管理研修		野菜摂取向上を目指して～給食施設での展開とその効果～
	24日	子どもの食育研修		食育の視点から、子どもの発育・発達に応じた食べる力を育むための、具体的な支援技術を学ぶことをテーマに実施します。
	25日	園内研修リーダー育成 研修 4回		園内研修は職員同士が保育の課題等への共通理解や協働性を高めるため、重要とされている。園内研修を、より職員が主体的に学び合える場としたいと考えている方を対象とした研修
2	16日	乳児調理実習研修		離乳食の講義及び調理実習を行い、基礎的知識及び技術の習得を通じて資質の向上を図り、保育所入所児童に適切な離乳食を提供することを目的とする。
	20日	園内研修リーダー育成 研修 4回		園内研修は職員同士が保育の課題等への共通理解や協働性を高めるため、重要とされている。園内研修を、より職員が主体的に学び合える場としたいと考えている方を対象とした研修
	23日	子どもの食育研修		食育の視点から、子どもの発育・発達に応じた食べる力を育むための、具体的な支援技術を学ぶことをテーマに実施します。
3	3日	キャリアアップ研修 No1	マネジメント 研修	キャリアアップ 対象全3回のうち1回目2名参加
	11日	キャリアアップ研修 No2	マネジメント 研修	キャリアアップ 対象全3回のうち2回目2名参加
	18日	キャリアアップ研修 No3	マネジメント 研修	キャリアアップ 対象全3回のうち3回目2名参加

以上

# 平成 29 年度 阿久和キッズ事業報告

## 1. 事業内容

○保育事業      ○延長保育事業

## 2. 保育園をめぐる状況

平成 29 年度は、地域交流を積極的に行った。阿久和保育園との連携でたくさんの行事に参加でき、多くの場面で援助してもらい、また、原幼稚園・三ツ境幼稚園の 2 園と交流を深め、連携枠を利用して 4 名の子どもたちが入園することができた。これらのことは保護者にとっても、嬉しいことであり安心感へとつながっている。

園内の環境整備としては、ゲートを取り付けて避難経路を増やし、各保育スペースの安全確保ができた。また、電子ピアノの購入で、キッズ独自のリズムが行えるようになり、日々の保育においても幅が広がった。

職員の在職状況については、年度途中で 1 名、年度末で 2 名退職者があり、また、1 名が産休に入り、職員の体制が厳しい時期もあったが、2 名の新しい職員を迎えることができてからは落ち着きを取り戻しつつある。新しい職員の育成を行いながら働きやすい環境を整えていきたい。これからも小規模保育事業として、家庭的で温かい保育を行い、保護者にとって安心できる保育園を目指していきたい。

## 3. 重点施策

### 1. 人財育成と職員体制の見直し

平成 29 年度、新しく職員 2 名を迎え入れて、少しずつ職員体制が整ってきている。新職員の育成を行いつつ、更に非常勤会議を設けて、全職員での共通理解・情報共有に努めてきた。これからは、職員間の信頼関係の構築にも力を入れてこの施策に取り組んでいくようにしたい。

### 2. 土曜保育の確立

平成 29 年度より、土曜日が 11 時間開所となったので、話し合いを行いながら職員の配置や環境整備に努め、11 時間保育に対応できるようになった。現在、新たに 0 歳児の土曜保育利用児が増えてきているので、再度職員の配置を考え直して、11 時間保育に対応できるようにしていきたい。

### 3. 地域交流の充実

阿久和保育園の園庭開放・園舎開放に積極的に参加して、交流を深めることができた。連携園の原幼稚園と三ツ境幼稚園においても、連絡を取りながらたくさんの行事に参加することができた。また、連携枠を使って、原幼稚園には 3 名、三ツ境幼稚園には 1 名の子どもたちが入園し、保護者の方々に安心感を与えることができた。

#### 4. 保育内容の見直し

平成 29 年度は年齢別保育が充実し、年齢にあった生活や体験ができた。異年齢保育を進めていく中で、生活の中で自然に関わり、小さい子をかわいがる姿や、大きい子の真似をする姿が見られた。朝・夕方の合同保育の中でも同じように関わりを持つことができ、意識して異年齢保育を行わなくても、家庭的な雰囲気の中で自然に体験できることがわかり、小規模保育の良い点を再確認した。

#### 4. 施設整備及び備品等購入

- ・平成 29 年度事業計画で挙げた内容について報告する。

実施時期	件名（内容）	金額（単位：円）
4 月	避難車用手すりカバー ハーフガード テーブル 3 点	87,702
8 月	給湯・給水シャワー工事	432,000
10 月	ハーフゲート	73,500
10 月	電子ピアノ	58,752
11 月	保育室吊戸棚補修	34,000

#### 5. 部門別保育年度達成状況（経過記録）

##### 乳児保育部門

- ・0 歳児...スペースをしっかりと確保し、安心安全な環境を整えることができた。  
一人ひとりとのふれあいを大切にして、愛着関係を築きながら親しみや関わりを深めて、園生活を送ることができた。
- ・1 歳児...進級児童 4 名、新入園児 3 名の 7 名でスタートし、子どもたちの自我や主張、意欲を受け止めながら、言葉かけや援助を丁寧に行ってきた。そして、安心して過ごし、必要な生活習慣が身につき始めている。  
戸外では様々なものに興味関心を持って親しみ触れて元気にあそぶ姿が見られ、散歩も楽しめるようになってきている。
- ・2 歳児...保育者に見守られながら、基本的な生活習慣が身につき、身の回りのことを自分で行えるようになる。  
言葉のやりとりで自分の思いを伝え、身近な人と気持ちを通わせられるようになった。  
戸外で元気よくあそび、散歩をすることで体力が付き、友達と関わりながら楽しく生活する姿が見られた。

## 給食部門

安心安全な給食の提供を最優先し、できるだけ丁寧できめ細やかな給食作りに努めてきた。0歳児の離乳食においては、家庭と担任、そして給食室と連携しながら進めていった。

昨年度と同様にアレルギー児も、他の子どもたちと一緒に同じ物が食べられるよう、食材を工夫して実現させることができた。

食育では様々な食材に触れ、また、見せてもらうことで、子どもたちの関心を深めることができた。クッキングを楽しむことにより、食に関する興味を育てていくことができた。

## 6. 児童数・職員数（空欄に数字を記入）

### (1) 入所児童数の推移

(単位：人)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
4月	4	7	7	-	-	-	18
5月	5	7	7	-	-	-	19
6月	5	7	7	-	-	-	19
7月	5	7	7	-	-	-	19
8月	5	7	7	-	-	-	19
9月	5	7	7	-	-	-	19
10月	5	7	7	-	-	-	19
11月	5	7	7	-	-	-	19
12月	5	7	7	-	-	-	19
1月	5	7	7	-	-	-	19
2月	5	7	7	-	-	-	19
3月	5	7	7	-	-	-	19
年平均園児数	5	7	7	-	-	-	19

### (2) 職員数(平成 30 年 3 月 31 日時点)

(単位：人)

職種	園長	保育士	栄養士	調理士	事務員	看護師	合計
正職員	1	5	0	0	0	0	6
嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0
パート職員	0	3	1	1	0	0	5

## 7. 実施行事

### (1) 実施行事一覧

月	日	名称	内容
4	3	入園・進級の日	新入園児・進級児・職員を紹介し、皆で祝う
	24	0歳児 懇談会	4月の子どもの様子と1年間の目標を保護者に伝える
	25	1歳児 懇談会	4月の子どもの様子と1年間の目標を保護者に伝える
	26	2歳児 懇談会	4月の子どもの様子と1年間の目標を保護者に伝える
5	2	こどもの日集会	こどもの日のお話を聞いて、端午の節句のお祝いをする
	18	内科検診	嘱託医の検診を受ける
6	6	ゴミ収集車	【地域交流】ゴミの分別・収集車を見学
	20	プール開き	プール遊びの安全を祈り、約束ごとを確認する
	23	じゃがいもほり	【地域交流】じゃがいも掘りに参加
	29	ごっこあそび	【地位交流】ごっこあそびに参加(2歳児)
7	7	七夕集会	七夕飾りや願い事を書いた短冊を笹に飾り、七夕にちなんだペーパサートを楽しむ
	21	夏祭り	【地域交流】の夏祭りに参加(希望者)
	28	すいかわり	テラスですいかわりを楽しむ
8	1 17	プールあそび	【地域交流】三ツ境幼稚園のプール開放に参加
	31	プールじまい	プールで安全に楽しく遊べたことに感謝し、プール遊びを終える
9	1	歯科健診	嘱託医の健診を受ける
10	7	運動会	【地域交流】阿久和保育園の運動会に参加(希望者)
	16	ゼリー作り	【食育】ゼリー作りを楽しむ(2歳児)
	19	さつまいもほり	【地域交流】さつまいもほりに参加(2歳児)
	23	安全教室	【地域交流】安全教室に参加(2歳児)
	26	おべんとう遠足	原保育園の芝生の園庭に遊びに行き、手作り弁当を食べる
	30	そうにゃん(相鉄)	【地域交流】に参加(0・1・2歳児)
	31	ハロウィン	【地域交流】ハロウィンに参加(0・1・2歳児)
11	1	おいもほり	【地域交流】お芋ほりに参加(2歳児)
	16	内科検診	嘱託医の健診を受ける
	18	親子であそぼう会	親子で体操・手遊び・リズム・パネルシアターを楽しむ
	29	移動動物園	原幼稚園の移動動物園を楽しむ(0・1・2歳児)
12	14	人形劇	【地域交流】人形劇に参加(0・1・2歳児)
	21	お楽しみ会	【地域交流】お楽しみ会に参加(0・1・2歳児)
	26	おもちつき	【地域交流】おもちつきに参加(2歳児)
1	9	こども新年会	【地域交流】新年会に参加(2歳児) 三味線演奏を楽しむ
	10	こども新年会	新年をみんなで祝う
	17	科学あそび	【地域交流】科学あそびに参加(2歳児)
	22	似顔絵	【地域交流】似顔絵を描いてもらう(2歳児)
	30	影絵	【地域交流】影絵に参加

2	2	豆まき	【地域交流】豆まきに参加（0・1・2歳児） キッズで豆まきを楽しむ
	14	0・1歳児懇談会	1年間の子どもの成長を伝え、進級について伝える
	15	2歳児 懇談会 マジックショー	1年間の子どもの様子を伝え、卒園について伝える 【地域交流】マジックショーに参加（0・1・2歳児）
	26	米粉ケーキ作り	【食育】ケーキ作りを楽しむ（2歳児）
3	1	ひなまつり	自分たちで作った雛人形を飾り、桃の節句のお祝いをする
	2	お別れ遠足	皆で遠足を楽しむ（0・1・2歳児）
	10	入園説明会	来年度入園児の保護者対象の説明会
	12	観劇会	三ツ境幼稚園主催の観劇会に参加
	16	卒園式	卒園児を皆で祝う

＊その他＊

毎月1回...誕生会 避難訓練 身体測定

【地域交流】...阿久和保育園

(2) 来年度（平成30年度）に向けた検討事項

・乳児が楽しめるような行事（内容）を企画し、成長につながっていくようにしていきたい。

・来年度も地域交流に積極的に参加し、姉妹園・連携園との交流を深めていく。

## 8. 研修報告

### (1) 研修報告一覧

月	日	通常の研修名 (右記以外の研修名)	処遇改善 対象の研修名	内容
5	30	衛生管理講習会		集団給食における衛生管理について
7	3	保育の資質を高めるために		保育の資質・専門性、チームワークとは
	8	障害の理解 基礎編		発達障害の理解と保育の考え方
	18	こどもの喘息・食物アレルギー		アレルギーの正しい知識とスキンケアを学ぶ
	18	第3法令改訂のポイント		第3法令改訂のポイントを学ぶ
8	24	子どもと保護者の心理学		発達心理学の基礎を習得し、子どもや保護者への理解を深め保育士としての専門性を高める
	29	家庭支援論		気になる子の保護者対応
9	4	感染症対策指導者養成研修		手洗い実習 感染症対策の基礎知識
	4	食育研修（全3回）		グループ研修 食育活動について 情報交換
	8	パネルシアターの作品と演じ方		パネルシアターの作品・演じ方 手作りの方法・楽しみ方を知る
	8	防災研修		防災について AED 講習
	11	主任・リーダー保育士研修		主任・リーダー保育士のスキルアップと施設間の連携強化（グループ討議）
	21	ソーシャルワーク論		ソーシャルワークについて
	29	保育ソーシャルワーク論研修		ソーシャルワークの基礎

				その概念と
10	16	0歳児保育研修		0歳児保育に必要な知識・技術の習得
	17	障害児保育を考える		統合保育 包括保育について
	20	主任・リーダー保育士研修		主任・リーダー保育士のスキルアップと施設間の連携強化(グループ討議)
11	2	食育研修		給食の試食と食育活動の見学
	6	給食研修会		支援に必要な児童への関わり方や給食の支援の仕方
	7	0歳児保育研修		0歳児保育に必要な知識・技術の習得
11	16	5区合同研修		
	20	3区合同研修 障害児保育研修		発達障害の理解と支援
	25		保育エキスパート研修 マネジメント	マネジメントの理解 保育所におけるリーダーシップの理解
12	14		保育エキスパート研修 マネジメント	組織目標の設定 人材育成
	15		保育エキスパート研修 マネジメント	働きやすい環境づくり
	19	主任・リーダー保育士研修		主任・リーダー保育士のスキルアップと施設間の連携強化(グループ討議)
1	16	幼児調理実習研修会		乳児・幼児食の調理実習
	17	保育・教職員人権研修		子どもの権利条約の知識
	18	食育研修		食育研修のまとめ
	18	小児医療研修		子どもたちの健康を守るために知っておくべきこと
	24	主任・リーダー保育士研修		主任・リーダー保育士のスキルアップと施設間の連携強化(グループワークまとめ)
2	8	食育研修会		子どもの発達と年齢に合わせた食育
3	5		保育エキスパート研修 保護者支援・子育て支援	支援とは何か グループワーク
	8		保育エキスパート研修 保護者支援・子育て支援	支援と援助の違い グループワーク
	14		保育エキスパート研修 保護者支援・子育て支援	まとめ レポート

\* その他

毎月1回...園内研修(手遊び・体操等の実技研修 新保育所保育指針の読み合わせ等)

(2) 来年度(平成30年度)に向けた検討事項

- ・研修は自ら決めて参加するようにしていく。
- ・保育に必要な研修を分担して、年間の予定を立てていく。
- ・園内研修では、保育の実践につながるような研修を考えていく。

以上